

法華経 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

1日

大安 虚

旧8月10日

水曜

妙法蓮華経陀羅尼品第二十六

によせつ しゅぎよう

く どく じん た

如説修行

功德甚多

「説の如く修行せん 功德甚だ多し」

法華経の四句の偈文の一つを受持・読・誦・解説・書写という「五種法師」の修行をするだけで、その功德は甚大であるとお釈迦さまは薬王菩薩に語られました。

仏さまの御心を正しく理解し信じ、その御心と一致するように、善を保ち、悪を起こさないように努め修行していけば功德甚多となるのです。

そのために経文を口に唱え、身に行ない、意(こころ)に念じる「身口意の三業」が必要なのです。

法華経 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

2日

赤口 危

旧8月11日

木曜

妙法蓮華経陀羅尼品第二十六

陀羅尼呪

「善い方向に導く呪文」

「陀羅尼」は悪法を捨て善法を持する意で、本来仏教修行者が覚えるべき教えや作法などを指し、転じて一定の形式を満たす呪文を特に陀羅尼と呼ぶようになりました。

「呪」とは口に唱えることです。

言葉を口で唱えれば、自分の耳に届き、心に深く入ってきます。

善い言葉を唱えていれば、心持ちも善くなり、身の行いも善くなっていくのです。

法華経 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

3日

先勝 室

旧8月12日

金曜

妙法蓮華経陀羅尼品第二十六

やく おう ぼ さつ

だ ら に しゅ

薬王菩薩の陀羅尼呪①

「安爾 曼爾」

薬王菩薩が法華経の行者守護を誓い説かれた四十三の陀羅尼呪を紹介していきます。

①安爾(あに)：「奇異」と訳し、不思議な事、珍しい事の意。仏さまの教えに出会うのは奇異で有難いと思うことが信仰の肝要の一つ目です。

②曼爾(まに)：「所思」と訳し、心の奥で本当に求めるものの意。仏さまが求める皆を救いたいという御心と自分の心が求めるものが一致するところが信仰の肝要の二つ目です。

法華経 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

4日

友引 壁

旧8月13日

土曜

妙法蓮華経陀羅尼品第二十六

やく おう

ぼ さつ

だ ら に

しゅ

薬王菩薩の陀羅尼呪②

「摩祢 摩摩祢 旨隸」

③摩祢(まね)：「意念」と訳し、繰り返し思うこと
意。幾度も繰り返し思ううちに大切な教えが
心の中に浸み込んでいくものです。

④摩摩祢(ままね)：「無意」と訳し、無意識に善い事
ができるようになることです。仏さまの教え
が浸み込むと考えなくても体が動くのです。

⑤旨隸(しれ)：「永久」と訳し、終わりが無いこと。
眼先のことばかりを考えるのではなく、未来
永劫に渡り衆生の幸せを願うことです。

法華経 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

5日

先負 奎

旧8月14日

日曜

妙法蓮華経陀羅尼品第二十六

やく おう ぼ さつ だ ら に しゅ

薬王菩薩の陀羅尼呪③

「遮梨第 賒咩 賒履多瑋」

⑥遮梨第(しやりて)：「所行奉修」と訳し、仏さまの行いを範として修行に励むこと。仏さまの大慈悲心を大切な手本に繰り返し習うのです。

⑦賒咩(しやみや)：「寂然」と訳し、変化しないことの意。万事が変化する無常の世の中に、一貫して変わらないものを捉えることです。

⑧賒履多瑋(しやびたい)：「澹泊」と訳し、執着を離れること。善い事をしてそれを認めて欲しいと思うこともまた執着です。

法華経 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

6日

仏滅 婁

旧8月15日

月曜

妙法蓮華経陀羅尼品第二十六

やく おう ぼ さつ だ ら に しゅ

薬王菩薩の陀羅尼呪④

「羶帝 目帝 目多履」

⑨羶帝(せんて)……「志黙」と訳し、変化を離れることを目標とすること。周囲の変化に振り回されず、泰然として修行に励むことです。

⑩目帝(もくて)……「解脱」と訳し、迷いや苦しみを離れること。私たちは自分で迷いを作り、自分を苦しめています。その苦の元を抜くのです。

⑪目多履(もくたび)……「済度」と訳し、一切衆生を救うこと。自分一人が救われるのではなく、すべての人々と共に救われることが大事なのです。

法華経 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

7

日

大安 胃

旧8月16日

火曜

妙法蓮華経陀羅尼品第二十六

やく おう ぼ さつ だ ら に しゅ

薬王菩薩の陀羅尼呪⑤

「娑履 阿瑋娑履 桑履」

⑫娑履(しゃび)：「平等」と訳し、一切衆生を平等に救うこと。善人も悪人も、智者も愚者も、分け隔てなく大慈悲の心で救うことです。

⑬阿瑋娑履(あいしゃび)：「無邪」と訳し、自己を中心としてものを考えないこと。皆が共に生きている存在であると忘れないことです。

⑭桑履(そうび)：「安和」と訳し、心安らかに互いに和むこと。自分の利を求めることなく私心を捨て、喜んで和合一致することが肝要です。

妙法蓮華經陀羅尼品第二十六

爾時藥王菩薩。即從座起。偏袒右肩。合掌向佛。而白佛言。世尊。若善男子。善女人。有能受持。法華經者。若誦誦通利。若書寫經卷。得幾所福。佛告藥王。若有善男子善女人。供養八百万億。那由他。恒河沙等諸佛。於汝意云何。其所得福。寧為多不。甚多世尊。佛言。若善男子。善女人。能於是經。乃至受持。一四句偈。誦誦解義。如說修行。功德甚多。爾時藥王菩薩。白佛言。世尊。我今當與。說法者。陀羅尼呪。以守護之。即說呪曰

安爾 曼爾 摩禰 摩摩禰 旨隸 遮梨第 賒咩 賒履 多瑋 羶帝 目帝

目多履 娑履 阿瑋娑履 桑履 娑履 又裔 阿又裔 阿耆膩 羶帝 賒履

陀羅尼 阿盧伽婆娑 簸蔗毘叉膩 禰毘剌 阿便哆 邏禰履剌 阿亶哆波隸輸地

欧究隸 牟究隸 阿羅隸 波羅隸 首迦差 阿三磨三履 佛馱毘吉利袞帝 達磨

波利差 帝僧伽涅槃沙禰 婆舍婆舍輸地曼哆邏 曼哆邏叉夜多 郵樓哆 郵樓哆

憍舍略 惡叉邏 惡叉冶 多冶 阿婆盧 阿摩若 那多夜

法華経 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

8日

寒露

大安 奎

旧8月17日

水曜

妙法蓮華経陀羅尼品第二十六

薬王菩薩の陀羅尼呪⑥

「娑履 叉裔 阿叉裔」

⑮娑履(しゃび)……⑫の「娑履」の繰り返しで、「普平」
との訳があり。一切衆生に対して、普く平等に
救いの手を指し伸ばし接するということです。

⑯叉裔(しゃえ)……「滅尽」と訳し、迷いや苦しみを滅
し尽くすこと。つまらないことに囚われ、道を
求める障害を取り除くということです。

⑰阿叉裔(あしゃえ)……「无尽」と訳し、自己の欲望に囚
われる気持ちが無くなれば、仏性は尽きるこ
とが無く貴い存在になれるということです。

法華経 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

9日

先勝 畢

旧8月18日

木曜

妙法蓮華経陀羅尼品第二十六

やく おう

ぼ さつ

だ ら に

し ゆ

薬王菩薩の陀羅尼呪⑥

「阿耨臍

羶帝

賒履」

⑱阿耨臍(あぎに)：「莫脱」と訳し、脱し尽くすこ

と。迷いから脱しても次の迷いが起きないよ
う、すべての迷いから脱し尽くすことです。

⑲羶帝(せんて)：「玄黙」と訳し、心が動揺しないこ

と。奥深い仏さまの教えを心に留め、周囲の変
化に影響されないことです。

⑳賒履(しゃび)：「澹然」と訳し、物事に囚われない

こと。少しばかりの覚りに囚われて、覚ったつ
もりになるのが最も危ういのです。

法華経 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

10日

友引 鶯

旧8月19日

金曜

妙法蓮華経陀羅尼品第二十六

やく おう ぼ さつ だ ら に しゅ

薬王菩薩の陀羅尼呪⑦

「陀羅尼 阿盧伽婆娑簸蔗毘叉膩 禰毘剌」

②①陀羅尼(だらに)：「総持」と訳し、あらゆる善を持ち、あらゆる悪を抑え起こさせないこと。

②②阿盧伽婆娑簸蔗毘叉膩(あるきやばしやはしやびしやに)：「観察」と訳し、物事をよく観ること。自分を自分でよく観て、迷いの本質を見極めることが肝要です。

②③禰毘剌(ねいびて)：「光耀」と訳し、私たちの心の中にある仏性のこと。仏さまと心が通じるところの本性を光に喩えています。

法華経 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

11日

先負 参

旧8月20日

土曜

妙法蓮華経陀羅尼品第二十六

薬王菩薩の陀羅尼呪⑧

「阿便哆邏禰履剎

阿亶哆波隸輸地

欧究隸」

②④阿便哆邏禰履剎(あべんたらねびて)：「恃怙」と訳し、自分を信じること。必ず仏の境界にたどり着けると驕ることなく信じることです。

②⑤阿亶哆波隸輸地(あたんだはれしゅだい)：「究竟清浄」と訳し、身口意のいずれにも穢れを帯びず清浄になることです。

②⑥欧究隸(うくれ)：「無有坑垆」と訳し、地面に凸凹がないこと、すなわち浄土の状態です。心が平和となり、完全な状態を意味します。

法華経 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

12日

仏滅 井

旧8月21日

日曜

妙法蓮華経陀羅尼品第二十六

やく おう ぼ さつ だ ら に しゅ

薬王菩薩の陀羅尼呪⑨

「牟究隸 阿羅隸 波羅隸」

②⑦牟究隸(むくれ)：「高下無し」と訳し、地面に高い所も低い所も無い、すなわちひたすら平らな浄土こと。心が平らかで安定していること。

②⑧阿羅隸(あられ)：「廻旋無し」と訳し、ぐるぐる回わらないこと。心に迷いがあると道が定まらず徘徊します。仏道の一本道を歩むように。

②⑨波羅隸(はられ)：「周旋する処の所」と訳し、心の落ち着き処を定めることです。周囲の迷える人々を救う菩薩行の実践の場所のことです。

法華経 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

13日

宗祖御会式

大安 鬼

旧8月22日

月曜

妙法蓮華経陀羅尼品第二十六

薬王菩薩の陀羅尼呪⑩

「首迦差 阿三磨三履 仏駄毘吉利袞帝」

③〇首迦差(しゅぎやし)・・・「其目清浄」と訳し、一切を見る目が清浄であるということ。穢れのない清浄な目に真実が移るのです。

③①阿三磨三履(あさんまさんび)・・・「等無所等」と訳し、「等(誰もが等しく仏に成れる)」と「無所等(等しい所がないほど難しい)」の両面があること。

③②仏駄毘吉利袞帝(ぼったびつきりじって)・・・「覚已超度」と訳し、一切の迷いを離れ仏の絶対の境地に至ること。「仏駄」は仏法僧の仏のこと。

法華経 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

14日

赤口柳

旧8月23日

火曜

妙法蓮華経陀羅尼品第二十六

やくおうぼ さつ だ ら に しゅ

薬王菩薩の陀羅尼呪⑪

「達磨波利差

帝僧伽涅槃沙彌

婆舍婆舍輸地」

③③達磨波利差帝(だるまはりして)：「而察於法」と訳し、

仏の境界に至るのは容易ではないので、仏の教えをよく察すること。「達磨」は仏法僧の法。

③④僧伽涅槃沙彌(そぎやねくしゃね)：「合衆無音」と訳

し、皆の心が一致すること。僧が音も出さず一心に学んでいること。「僧伽」は仏法僧の僧。

③⑤婆舍婆舍輸地(ばしゃばしゃしゅだい)：「所説鮮明」と

訳し、心に疑いなければ、鮮明な言葉で相手に説くことができるということです。

妙法蓮華經陀羅尼品第二十六

爾時藥王菩薩。即從座起。偏袒右肩。合掌向佛。而白佛言。世尊。若善男子。善女人。有能受持。法華經者。若誦誦通利。若書寫經卷。得幾所福。佛告藥王。若有善男子善女人。供養八百万億。那由他。恒河沙等諸佛。於汝意云何。其所得福。寧為多不。甚多世尊。佛言。若善男子。善女人。能於是經。乃至受持。一四句偈。誦誦解義。如說修行。功德甚多。爾時藥王菩薩。白佛言。世尊。我今當与。說法者。陀羅尼呪。以守護之。即說呪曰

安爾	曼爾	摩禰	摩摩禰	旨隸	遮梨第	賒咩	賒履	多瑋	羶帝	目帝
目多履	娑履	阿瑋娑履	桑履	娑履	叉裔	阿叉裔	阿耆膩	羶帝	賒履	
陀羅尼	阿盧伽婆娑	簸蔗毘叉膩	禰毘剃	阿便哆	邏禰履剃	阿亶哆波隸輸地				
欧究隸	牟究隸	阿羅隸	波羅隸	首迦差	阿三磨三履	佛駄毘吉利裘帝	達磨			
波利差帝	僧伽涅槃沙禰	婆舍婆舍輸地	曼哆邏	曼哆邏叉夜多	郵樓哆	郵樓				
哆憍舍略	惡叉邏	惡叉治	多治	阿婆盧	阿摩若	那多夜				

法華経 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

15日

先勝 星

旧8月24日

水曜

妙法蓮華経陀羅尼品第二十六

やく おう

ぼ きつ

だ ら に

しゆ

薬王菩薩の陀羅尼呪⑫

「曼哆邏

曼哆邏叉夜多

郵楼哆」

③⑥曼哆邏(まんだら)：「壇」と訳し、具足〓いろいろな

ものが一つにまとまっていること。法華経に仏さまのすべての功德が具わっているのです。

③⑦曼哆邏叉夜多(まんだらしゃやた)：「具足」した中に

自分が止まっていること、「止足」といいます。

仏さまと一致して留まり満足していること。

③⑧郵楼哆(うろた)：「尽除節限」と訳し、もうここま

でと区切りをつけることなく、教えを弘め衆生を救い続けることです。

法華經 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

16日

友引 張

旧8月25日

木曜

妙法蓮華經陀羅尼品第二十六

やく おう ぼ さつ だ ら に しゅ

藥王菩薩の陀羅尼呪⑬

「郵楼哆憍舍略 惡叉邏 惡叉治多治」

③9 郵楼哆憍舍略(うるたきようしやりや)：「宣暢音響」と
訳し、広く世の中に弘めるという意味です。
「音響」とは仏さまが教えを説く声です。

④0 惡叉邏(あしゃら)：「曉了衆声」と訳し、迷える衆生
の声を聞き、その意味を理解することです。
求めることに対応して教えを説くのです。

④1 惡叉治多治(あしやたや)：「而了文字」と訳し、衆
生が求めることに對して、それぞれにふさわし
い教えを説くことです。

法華経 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

17

日

先負 翼

旧8月26日

金曜

妙法蓮華経陀羅尼品第二十六

やく おう ぼ さつ だ ら に しゅ

薬王菩薩の陀羅尼呪⑭

「阿婆盧 阿摩若那多夜」

④②阿婆盧(あばろ)：「無有窮尽」と訳し、貴い教えが弘まる道は滅びることが無いという意味です。仏さまの教えには栄枯盛衰は無いのです。

④③阿摩若那多夜(あまにやなたや)：「無所思念」と訳し、善い事をしようと思念しなくても、仏さまの教えを実行できるようになることです。

薬王菩薩の四十三の呪は、法華経の行者があるべき理想像を表したものであり、理想像に近づけるようにという私たちの目標でもあります。

法華経 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

18日

仏滅 軫

旧8月27日

土曜

妙法蓮華経陀羅尼品第二十六

そく い しん き
則為侵毀。
ぜ しよ ぶつ ち
是諸仏已

「諸仏を迫害するのと同じ罪になる」

薬王菩薩の陀羅尼呪は、諸仏が説かれた大事な
教えであり、この教えを弘めようとする行者を
迫害する者は、諸仏を迫害するのと同じである
と、薬王菩薩はお釈迦さまに告げられました。

『法師品第十』にも法華経の行者守護が説かれ、
法師を迫害すると仏を謗る以上の大きな罪にな
ると説かれています。

教えを弘める人が多くなれば世の中は善くなる
ので、その邪魔をする罪は大きいのです。

法華経 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

19日

大安 角

旧8月28日

日曜

妙法蓮華経陀羅尼品第二十六

勇施菩薩の陀羅尼呪①

「座隸 摩訶座隸」

藥王菩薩に続いて、勇施菩薩が法華経の行者守護を誓い説かれた十三の陀羅尼呪を紹介していきます。

①座隸（ざれ）：「晃耀」と訳し、仏法が世界を照らすことを表しています。仏さまの慈悲心から生まれた光は周囲を明るく照らすのです。

②摩訶座隸（まかざれ）：「大明」と訳し、仏さまの教えの光は非常に大きいことを表しています。暗がりをつくることのない大きな光です。

法華経 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

20日

赤口 亢

旧8月29日

月曜

妙法蓮華経陀羅尼品第二十六

勇施菩薩の陀羅尼呪②

「郁枳 目枳 阿隸」

③郁枳(うつき)・・・「炎光」と訳し、焚いた炎の光が

周囲を照らすこと。薪を入れ炎が燃え続けるように、修行を続ける大切さを表しています。

④目枳(もつき)・・・「演輝」と訳し、光り輝くように教

えが普く世の中に伝わっていくことです。それを自分の喜びとするような気持が「演輝」です。

⑤阿隸(あれ)・・・「須来」と訳し、須らく(当然なすべこととして)教えが説かれる所に来て、教えに帰依するという意味です。

法華経 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

21日

先負 氏

旧9月1日

火曜

妙法蓮華経陀羅尼品第二十六

ゆうぜ ぼ さつ だ ら に しゅ

勇施菩薩の陀羅尼呪③

「阿羅婆第 涅槃第 涅槃多婆第」

⑥阿羅婆第(あらはて)・・・「富章」と訳し、美しさに富む
という意味です。仏さまの教えは美しく、心を
惹きつけ、離れ去ることができないのです。

⑦涅槃第(ねれて)・・・「悦喜」と訳します。「悦」は心の
よろこび、「喜」は外に表れるよろこび。仏法を
信じるときに感じる深いよろこびです。

⑧涅槃多婆第(ねれたはて)・・・「欣然」と訳し、「悦喜」の
状態が続くこと。よろこびが続き、常に有難い
と思える状態は信仰の極みといえるでしょう。

妙法蓮華經陀羅尼品第二十六

佛馱毘吉利表帝 達磨波利差帝 僧伽涅槃沙彌 婆舍婆舍輸地 曼哆邏 曼哆邏

又夜多 郵樓哆 郵樓哆憍舍略 惡叉邏 惡叉治多治 阿婆盧 阿摩若 那多夜

世尊。是陀羅尼神呪。六十二億。恒河沙等。諸佛所說。若有侵毀。此法師者。則為

侵毀。是諸佛已。時釈迦牟尼佛。讚藥王菩薩言。善哉善哉。藥王。汝愍念擁護。此

法師故。說是陀羅尼。於諸衆生。多所饒益

爾時勇施菩薩。白佛言。世尊。我亦為擁護。誦誦受持。法華經者。說陀羅尼。若此

法師。得是陀羅尼。若夜叉。若羅刹。若富單那。若吉蔗。若鳩槃荼。若餓鬼等。伺

求其短。無能得便。即於佛前。而說呪曰

座隸 摩訶座隸 郁枳 目枳 阿隸 阿羅婆第 涅槃第 涅槃多婆第

伊緻梔 韋緻梔 旨緻梔 涅槃墀梔 涅槃墀婆底

法華経 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

22日

仏滅 房

旧9月2日

水曜

妙法蓮華経観世音菩薩普門品第二十五

ゆうぜ ぼ きつ だら に しゅ

勇施菩薩の陀羅尼呪④

「伊綴梔 韋綴梔 旨綴梔」

⑨伊綴梔(いちに)：「住止」と訳し、常に安心できる心のよりどころがあること。本当の信仰に安住できる心持ちのことです。

⑩韋綴梔(いちに)：「立制」と訳し、最も必要なことから順序よく実行していくことです。状況を見極め計画的に伝えることが必要です。

⑪旨綴梔(しちに)：「永住」と訳し、仏さまの教えの中に身を置き、いつまでもその教えを弘めていく心を失わないことです。

法華経 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

23日

霜降

大安 心

旧9月3日

木曜

妙法蓮華経観世音菩薩普門品第二十五

ゆうぜ ぼさつ だら に しゅ

勇施菩薩の陀羅尼呪⑤

「涅槃埤柅 涅槃埤婆底」

⑫涅槃埤柅(ねれちに)：「無合」と訳し、早々に合意を得られなくてもあきらめないことです。あせらずとも、必ず真実は伝わるのです。

⑬涅槃埤婆底(ねりちはち)：「無集」と訳し、多数を集めて勢力をつくろうとしないこと。仏意に沿わない相手と徒党を組む必要はないのです。

勇施菩薩の陀羅尼呪もまた諸仏が説かれたところであり、法華経を弘める行者がいれば、諸仏も皆喜んで力を添えてくれるのです。

法華経 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

24日

赤口 尾

旧9月4日

金曜

妙法蓮華経陀羅尼品第二十六

び しゃ もん てん

だ ら に しゅ

毘沙門天の陀羅尼呪①

「阿梨」

毘沙門天は帝釈天のはたらきを助ける四天王のうち北方を守る守護神です。インドという国を守る上でも北は重要な方角なので毘沙門天が重んじられているといわれています。

その毘沙門天が法華経の行者守護を誓い説かれた六つの陀羅尼呪を紹介していきます。

①阿梨(あり)：「富有」と訳し、あらゆる力が備わっていること。真実の教えには限りない力が備わっているということです。

法華経 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

25日

先勝 箕

旧9月5日

土曜

妙法蓮華経陀羅尼品第二十六

毘 しゃもんてん だらに しゅ
毘沙門天の陀羅尼呪②

「那梨 菟那梨 阿那盧」

②那梨(なり)：「調戲」と訳し、法華経は最勝の教えなので、教えを説く際には自信を持ち、勝敗を意識するには及ばないということです。

③菟那梨(となり)：「無戲」と訳し、信仰に励む上では心にゆるむことなく、内側から崩れてはならないということです。

④阿那盧(あなろ)：「無量」と訳し、仏さまの慈悲も教えの力も無量であり、その光も価値も無量であるということです。

法華経 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

26日

友引 斗

旧9月6日

日曜

妙法蓮華経陀羅尼品第二十六

び しやもんてん だらに しゅ

毘沙門天の陀羅尼呪③

「那履 拘那履」

⑤那履(なび)：「無富」と訳し、富めること無し、仏さまの教えがこれ以上さらに勝れたものは無いということです。

⑥拘那履(くなび)：「何富」と訳し、この仏さまの教えよりほかに勝れたものは決して有りはしないということです。

法華経を信じる者は、自分以上に幸せな者はいないのだから、法華経を弘めるよろこびを感じ信仰に励めと説いているのです。

法華経 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

27

日

先負 女

旧9月7日

月曜

妙法蓮華経陀羅尼品第二十六

じこくてん

だらにしゅ

持国天の陀羅尼呪①

「阿伽彌 伽彌 瞿利」

四天王のうち東方を守る持国天の九つの陀羅尼呪を紹介していきます。

①阿伽彌(あきやね)：「無数」と訳し、数限りないこと。数限りなく教えが弘まることが理想です。

②伽彌(きやね)：「有数」と訳し、数に限りがあること。少数でも教え弘める人が大切なのです。

③瞿利(くり)：「暴悪」と訳し、悪人や間違った考えの者を正しい道に導くことです。慈悲心を持つて真実に導くのは非常に重要なことです。

法華経 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

28日

仏滅 虚

旧9月8日

火曜

妙法蓮華経陀羅尼品第二十六

じこく てん

だ ら に しゅ

持国天の陀羅尼呪②

「乾陀利 旃陀利 摩瞪耆」

④乾陀利(けんたり)：「持香」と訳し、香を持つという意味です。よい香が周囲を清浄にするように、仏さまの徳は周囲を感化することです。

⑤旃陀利(せんたり)：「曜黒」と訳し、星の光のことです。漆黒の夜空に星が鋭く光を発するように周囲を照らし導くことを示しています。

⑥摩瞪耆(まとうぎ)：間違った考えを持つ者が考えを正すように祈ること。そして誤った教えが無くなるように祈ることです。

妙法蓮華經陀羅尼品第二十六

座 隸 摩訶座隸 郁枳 目枳 阿隸 阿羅婆第 涅槃第 涅槃多婆第

伊緻梔 韋緻梔 旨緻梔 涅槃墀梔 涅槃墀婆底

世尊。是陀羅尼神呪。恒河沙等。諸佛所說。亦皆隨喜。若有侵毀此法師者。則為侵毀。是諸佛已

爾時毘沙門天王護世者。白佛言。世尊。我亦為愍念衆生。擁護此法師故。說是陀羅尼。即說呪曰

阿梨 那梨 𑖀那梨 阿那盧 那履 拘那履

世尊。以是神呪。擁護法師。我亦自當。擁護持是經者。令百由旬內。無諸衰患。爾時持國天王。在此會中。与千萬億。那由佗。乾闥婆衆。恭敬圍繞。前詣佛所。合掌白佛言。世尊。我亦以陀羅尼神呪。擁護持法華經者。即說呪曰

阿伽禰 伽禰 瞿利 乾陀利 旃陀利 摩蹬耆 常求利 浮樓莎梔 頽底

法華経 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

29日

大安 危

旧9月9日

水曜

妙法蓮華経陀羅尼品第二十六

じこく てん だ ら に しゅ

持国天の陀羅尼呪③

「常求利 浮楼莎梔 頽底」

⑦常求利(じょうぐり)：「大体」と訳し、大事な問題を捉えること。小事に囚われて大事を見失ってはならないということです。

⑧浮楼莎梔(ぶろしゃに)：「順述」と訳し、仏さまのお気持ちに従って述べること。仏さまの教えに背いて説いても罪を重ねるだけです。

⑨頽底(あっち)：「至有」と訳し、最も勝れたものという意味です。法華経は最も勝れた教えであると信じ、世に弘めることが大事です。

法華經 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

30日

赤口 室

旧9月10日

木曜

妙法蓮華經陀羅尼品第二十六

じゅう ら せつ によ

十羅刹女

「法華經の護法の善神となった十人の羅刹(悪鬼)」

法華經の護法の善神となった十人の羅刹(悪鬼)。

藍婆(らんば)・毘藍婆(びらんば)・曲齒(こくし)・華齒(けし)・

黑齒(こくし)・多髮(たほつ)・無厭足(むえんぞく)・持瓔珞

(じようらく)・皐諦(こうたい)・奪一切衆生精氣(だついつき

いしゆじようしようけ)の十人の羅刹女が仏前におい

て、鬼子母神と共に陀羅尼神呪を唱え、法華經受

持者の守護を誓約しました。

十羅刹女は更にと法華經の行者を悩ます者に罰

を下すことも誓言しています。

法華經 日めくり

令和7年 乙巳

2025年

10月

31日

先勝 壁

旧9月11日

金曜

妙法蓮華經陀羅尼品第二十六

鬼き子し母も神じん

「法華經行者の守護神」

子供をさらって殺していた鬼子母の末子をお釈迦さまが隠し悔い改めさせ、邪神が善神となり、子授け・安産・子育ての神、鬼子母神として盛んに祀られています。

日蓮聖人は鬼子母神を法華經の守護神として大曼荼羅の中に勧請し、十羅刹女と共に諸天善神の中でも特に重視しています。

法華信仰の広がりとともに信徒の「現世安穩後生善処」を祈る祈祷の守護神となりました。

妙法蓮華經陀羅尼品第二十六

阿伽彌 伽彌 瞿利 乾陀利 旃陀利

摩瞪耆 常求利 浮樓莎柅 頽底

世尊。是陀羅尼神呪。四十二億。諸佛所說。若有侵毀。此法師者。則為侵毀。是諸佛已

爾時有羅刹女等。一名藍婆。二名毘藍婆。三名曲齒。四名華齒。五名黑齒。六名多髮。七名無厭足。八名持瓔珞。九名臯諦。十名奪一切衆生精氣。是十羅刹女。与鬼子母。并其子。及眷属。俱詣佛所。同声白佛言。世尊。我等亦欲擁護。誦誦受持。法華經者。除其衰患。若有伺求。法師短者。令不得便。即於佛前。而說呪曰